

コロナに負けるな！『ニッポンがんばれ！基金』募金要項

募金名称

新型コロナウイルス感染拡大防止活動、コロナに負けるな！『ニッポンがんばれ！基金』

募金目的

新型コロナウイルスの影響で経済活動は停滞しました。多くの企業が存続を脅かされ、閉店を余儀なくされる個人商店も続出しています。それに伴い多数の人々も経済的な窮地に追い込まれています。

そして、人々の生活から様々なものが消えました。旅行をすることも、買い物に出かけることも、気の置けない仲間とお酒を飲むことも自粛せねばなりません。週末にスポーツを応援する事も出来なくなり、高校生が積み重ねてきた研鑽の集大成を披露する場であった甲子園もインターハイも中止となりました。舞台や映画、多くのエンタテインメントも我々の生活から消えました。

一刻も早くこのウイルスを抑え込む必要があります。しかし、連日連夜新しい感染者の数、残念な事に死者の数も報道され続けているのが現状です。それは同時に医療の現場がより切迫した状態に向かいつつある事を意味します。

現在、医療の現場では、感染症治療に必要な防護服、N95マスク、医療用ゴーグルなどが不足しています。本来であれば使い捨てであるそれらを洗浄して使いまわしている現場の様子をよく報道でも目にするようになりました。また、それらの不足により院内感染も生じています。

そこで、「コロナに負けるな！ニッポンがんばれ！」を合言葉に、新型コロナウイルスの感染拡大防止に尽力するため、基金を設立しました。この基金の目的は、より迅速に資金を集め、不足している医療品を調達し、直接医療現場へ届ける事を目的としています。

ぜひ、この趣旨をご理解の上、最前線で新型コロナウイルスと戦う医療従事者の方々のお手伝いをするため、家族でどこへでも出かけることが出来る日常、スポーツ選手が汗を流す姿を応援できる日本を取り戻すため、絶大なるご支援、ご協力を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

今回の基金では、日本における新型コロナウイルス感染症の拡大防止に取り組む、個人・団体・事業者・医療機関・自治体などに対して、下記のような緊急助成を行います。

- ・医療機関へのマスクや手袋、防護服、ゴーグルなどの医療用品の支援。
- ・新型コロナウイルス感染症の予防、診断、治療のための研究・開発費用
- ・その他、当財団の理事会で特別に認めた新型コロナウイルス関連の費用

募金目標額

提供する医療品ごとに目標額を定め到達しだい速やかに購入し医療機関に提供します。

皆様の善意を日本全国の感染拡大防止現場にお届けしたいと思えます。

募金期間

2020年4月27日から2020年12月31日まで

期間中であっても、目標とする医療品の調達資金に募金額が到達しだい早急に助成活動を行います。

募金金額

【個人の場合】特に定めません（ただし税制優遇を受けたい方は10,000円以上でお願いします）

【法人の場合】一口 100,000円（一口以上）

お申し込み方法（必ず ①申込書をFAXしてから ②送金してください）

① 寄付申込書のご提出をお願いいたします。

公益財団法人公益推進協会に「コロナに負けるな！基金」を受配者に指定して寄付することが可能です。その場合、特定公益増進法人への寄付とみなされ、税制上の優遇措置（所得控除）が認められています。追加寄付申込用紙は、当財団ホームページ（<https://kosuikyo.com/>）よりダウンロードし、必要事項を記入の上、公益財団法人公益推進協会 『コロナに負けるな！基金事務局』宛にFAX 又はご郵送ください。

② 寄付金のご送金をお願いいたします。

・下記の公益財団法人公益推進協会の銀行口座、又は郵便振替口座にお振込み下さい。

銀行の場合 三井住友銀行 赤坂支店（825） 普通 9404422

口座名義 ザイ）コウエキスイシンキョウカイ

郵便局の場合 口座番号00180-8-513089 公益財団法人公益推進協会

※振込手数料は寄付者ご本人様のご負担となりますのでご了承ください。

ご寄付に対する税制上の優遇措置があります

この寄附金は、特定公益増進法人への寄附金として、所得税・相続税・法人税の税制上の優遇措置があります。また一部の自治体では、個人住民税の寄附金控除の対象となります。

■ 個人の方が寄付をする場合の税制優遇について

◎所得税

当基金へのご寄附は、寄附金控除としての対象となります。さらに租税特別措置法に基づく税額控除に関する証明書を受けており、これによって、「税額控除」または「所得控除」いずれか有利な方式を選択し、寄附金控除を受けることができます。多くの場合「税額控除」を選択された方が税額は従来よりも少なくなります。控除を受けるためには、確定申告を行なうことが必要です。当財団が発行する受領証を添付して税務署に申告してください。また、税額控除を選択される場合は、「税額控除に係る証明書」もあわせて添付してください。

確定申告の時期は毎年2月16日から3月15日までです。(土日の場合は翌日か翌々日)

勤務先などで実施される年末調整では寄附金控除を受けることはできませんのでご注意ください。

(所得税法施行令第217条第1項第3号)

A. 【寄附金控除（税額控除）額の計算】

次の算式により算出された額が「寄附金控除」として、所得税から控除されます。

$$(\text{寄附金合計額} \times 1 - 2,000 \text{円}) \times 40\% = \text{控除額} \times 2$$

B. 【寄附金控除（所得控除）額の計算】

次の算式により算出された額が「寄附金控除」として、所得税から控除されます。

$$(\text{寄附金合計額} \times 3 - 2,000 \text{円}) \times \text{所得税率} \times 4 = \text{控除額}$$

※3 年間所得金額の40%が限度となります。

※4 所得税率は年間の所得金額によって異なります。詳しくは国税庁のホームページにてご確認ください。

◎個人住民税

都道府県・市区町村が各々の条例で指定した寄附金が、個人住民税の軽減措置（寄附金控除）の対象となります。(全国一律ではありませんので、お手数ですが、対象となるかについてはお住まいの各自治体にお問い合わせください。)

○ 寄附金額から、2千円を差し引いた額の

- ・ 都道府県指定の場合は、4%が個人都道府県民税の税額控除となります。
- ・ 市区町村指定の場合は、6%が個人市区町村民税の税額控除となります。

所得税の確定申告の際に、個人住民税の寄附金控除も合わせて申告できます。

確定申告用紙の第二表の「住民税に関する事項」の「条例指定分」の欄に寄附金額をご記入いただき、当財団発行の受領証を添付してください。

転居された場合、旧住所の受領証では寄附金控除を受けられない場合もありますので、転居された方は早めに当基金までご連絡ください。対象となる寄附金の上限額は、年間所得の30%です。

◎相続税

相続により取得した財産の一部または全部を寄附した場合、寄附した財産に相続税が課税されません。

なお、相続税の申告期限は被相続人が死亡したことを知った日の翌日から10か月以内とされています。

(租税特別措置法施行令第40条の3第1項第3号)

※税金のお問い合わせについては、お近くの税務署、税務相談室や税理士にご確認ください。

■ 法人が寄付をする場合の税制優遇について

◎特定公益増進法人に対する寄附金の特例

特定公益増進法人に対する寄附金は、その寄附金の合計額と寄附金の損金算入限度額のいずれか少ない金額が損金に算入されます。

◎必要な手続き

決算時に、確定申告書寄附金の損金算入に関する明細書と当財団が発行の受領証を添付して下さい。

(法人税法施行令第77条第1項第3号)

※損金に算入できる限度額は、その法人の資本や所得の金額によって異なります。

詳しくはお近くの税務署、税務相談室や税理士にご確認ください。

お問い合わせ先

公益財団法人公益推進協会 『ニッポンがんばれ！基金』 担当高野

〒105-0004 東京都港区新橋6-7-9 新橋アイランドビル2階

TEL 03-5425-4201 FAX 03-5405-1814 e-mail: info@kosuikyo.com